



地域つながり隊
キャラクター
「つなちゃん」

地域つながり隊推進事業

(板橋区地域福祉コーディネーターモデル配置事業)



誰もが役割と生きがいを持って生活できる「地域共生社会」の実現をめざし、包括的支援体制の構築に
取り組む地域福祉コーディネーターを板橋区からの委託により、志村坂上・蓮根・舟渡の3地区にモデル
配置しています。

地域福祉コーディネーターは、地域へのアウトリーチ機能を活用し、複雑・複合化する課題を包括的に
受け止め、地域住民や専門職等との連携・協働を通して課題の解決に取り組んでいます。

1. 地域福祉コーディネーターとは

地域福祉コーディネーターは、地域の中に入り、地域住民からの相談を受け、その困りごとを地域住民
や地域にかかわる団体、専門職と連携して、課題の解決に取り組む専門職です。

地域に出向き、「個別の相談」、「社会とのつながりづくり」、「地域づくり」を一体的に進めていくことが、
地域福祉コーディネーターの特徴です。

1

相談支援 (個別相談)

制度や分野を問わず、住民からの相談を
幅広く受け、一緒に考えることで、地域
住民等の気づきによる早期発見に
取り組みます。

2

参加支援 (社会とのつながりづくり)

できることを活かして、その人らしい
居場所や社会とのつながりがつくれる
ように、個人や地域に向けて働きかけ
ます。

3

地域づくりに向けた支援 (地域づくり)

地域住民や活動者、専門職等と顔の
見える関係を作り、地域課題を地域全体
で考え、ともに取り組むための土壌づく
りを進めます。

2. 体制

<モデル地区> 志村坂上地区・蓮根地区・舟渡地区

<配置人数> 2名
(正規職員1名・嘱託職員1名)

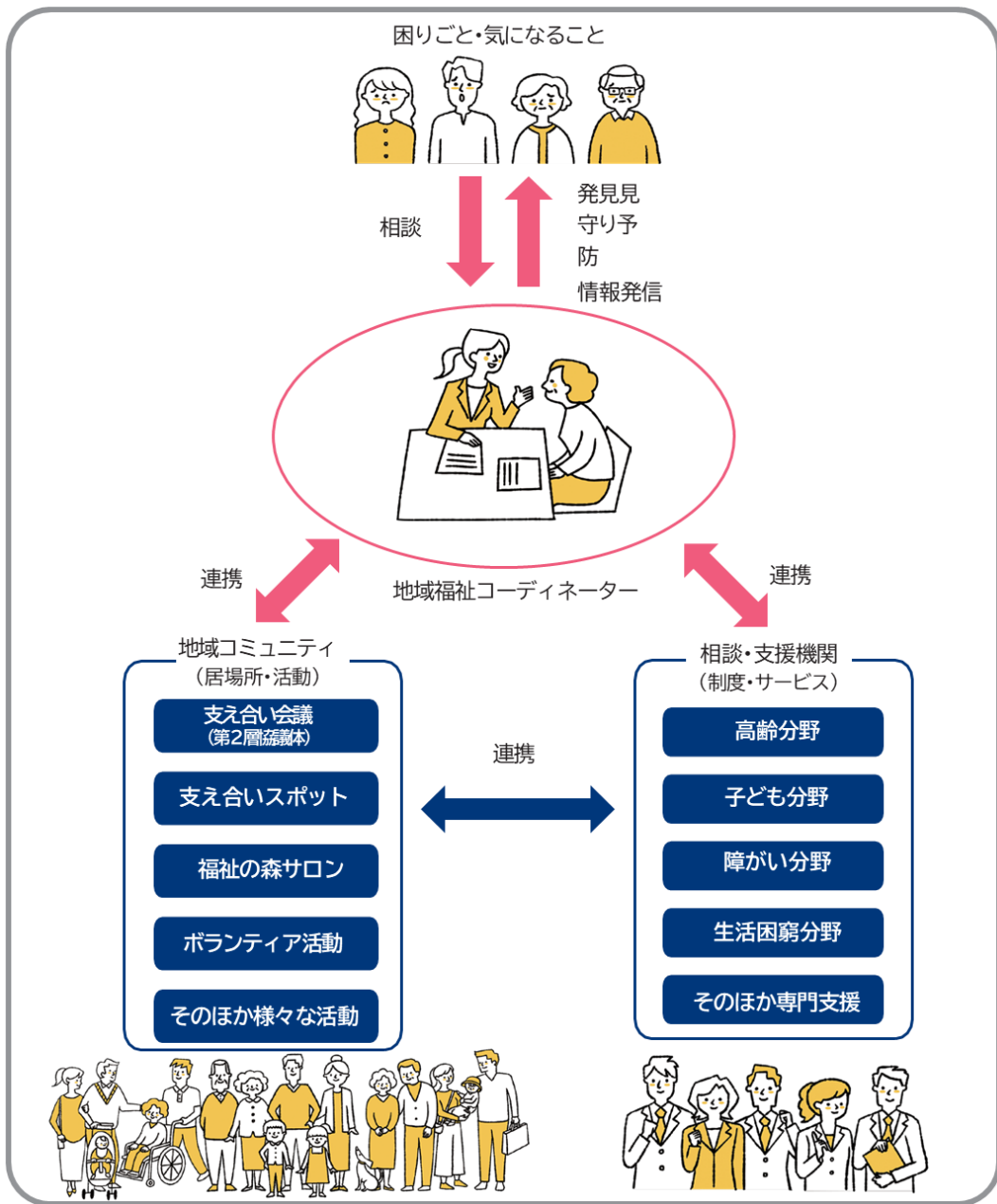
<拠点> 仲蓮根会館
(蓮根二丁目21番10号)
火曜日・木曜日 10時～15時

※上記以外は板橋区社会福祉協議会での
地域福祉コーディネーター業務のほか、
出張相談会、アウトリーチによる地域住民の
活動(支え合いスポット等)に参加しています。



3. 相談から支援の流れ

地域福祉コーディネーターは、地域に出向いて身近に相談できる機会をつくります。相談者と一緒に課題を整理し、適切な機関へつないで継続的に支援することで、地域住民と専門職がともに地域で支え合う仕組みをつくります。



[地域つながり隊推進事業リーフレットはこちら](#)

[出張相談会のご案内はこちら](#)

[令和5年度 活動報告書はこちら](#)